

# 令和3年度事業実施報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度の協会運営は、令和3年の定時社員総会で承認された事業計画と予算に則り、公益社団法人として、代表理事会長・理事副会長のもと理事会の執行機関として8つの「委員会」を設置し、各「委員会」ごとに責任を持って事業を推進し、全体を調整する機関として「総括運営委員会」を置き、当協会の理念に基づき、多岐にわたる協会の事業を具体的に効率よく実施し、収支ともほぼ予算内で行いました。前年度に新型コロナウイルス感染症の影響により延期・中止となった事業についても、すべてではありませんが、感染症対策をしっかりと行って実施致しました。

## A. 公益事業

### 1. 日本写真協会賞の令和2年度表彰及び令和4年度選考 【表彰委員会】

#### ○令和2年度表彰式、展示会の実施

- 令和2年度日本写真協会賞は、我が国の写真文化活動に顕著な功績が認められた内外の個人・団体をはじめ、前年に優れた作品・評論を発表された方々の中から令和2年2月20日に各賞の受賞者を選出し、3月24日理事会で決定し、4月1日にカメラ記者クラブ・関係諸機関・一般紙報道機関や公共機関にニュースリリースを配布して、対外発表しました。その後、6月1日に表彰式ならびに受賞者祝賀会パーティーを笹川記念会館(三田)で、また5月29日～6月4日に受賞作品展を富士フィルムフォトサロン東京(六本木)で開催予定でしたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のための非常事態宣言発令により、中止しました。
- 令和3年に入り、感染症対策を講じた上で、表彰式を6月1日に笹川記念会館(三田)で、受賞作品展を6月1日～3日に富士フィルムフォトサロン東京(六本木)で、それぞれ開催致しました。
- なお、令和3年度日本写真協会賞の選考は、全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の写真活動がほとんど休止状態になったことを受け、中止と致しました。

#### ○選考委員 (敬称略、五十音順)

大西みつぐ(写真家)、河野和典(フォトエディター)、佐藤時啓(写真家)、土田ヒロミ(写真家)、松本徳彦(写真家)

#### ○令和2年度受賞者 (敬称略)

- ☆作家賞： 石川 直樹
- ☆新人賞： 池田 宏、GOTO AKI
- ☆国際賞： マーク・ピアソン
- ☆功労賞： 宮澤孝一、日本山岳写真協会
- ☆学芸賞： 東京大学史料編纂所古写真研究プロジェクト 谷昭佳

#### ○令和4年度受賞者の選考

- 令和4年日本写真協会賞の選考は、恣意的な選考に陥らないよう、会員及びノミネーターから昨年末までに候補者の資料を広く収集し、令和4年2月25日、5名の選考委員による「選考会」を開催し、作家賞1名、新人賞1名、国際賞2名、功労賞2名、学芸賞2名の受賞者を内定致しました。

これを令和4年3月25日に理事会で書面決議により承認決定し、3月31日に対外発表致しました。

#### ○選考委員 (敬称略、五十音順)

大西 みつぐ (写真家)、河野 和典 (フォトエディター)、白山 眞理 (写真史家)、菅沼 比呂志 (インディペンデント・キュレーター)、広川 泰士 (写真家)

○令和4年受賞及び受賞理由（敬称略、五十音順）

☆作家賞： 今 道子

神奈川県立近代美術館鎌倉別館で開催された「フィリア」展は、初期の代表作から近作を含む約100点を展示した。食材や日常的なものを素材に組み合わせ、オブジェとして制作した作品は、見る者に強烈なインパクトを与える。その創造性豊かで際立つ唯一無二の個性に対して

☆新人賞： 田川基成

写真集・写真展「見果てぬ海」は、大航海時代にポルトガル人やスペイン人がキリスト教を伝えた記録から、隠れキリシタンの歴史を掘り起こし、長崎の風景・豊かな海・人々・催事・日常の断片を歴史・宗教・風俗など様々な視点で捉えており、単なる一地方の記録に収まらない。そのスケールの大きな作品に対して

☆国際賞： 太田菜穂子

東京とパリを拠点にKlee Inc. を主催し、独特な切り口で写真展を企画運営し、写真を通して国際文化交流を行っている。特に、2011年NPO東京画を立ち上げ、18年パリ・19年ベルリンで国際交流写真展、20年「東京好奇心 2020 渋谷」を成功させた。これら多年の功績に対して

☆国際賞： 榮榮&映里

2007年、北京の草場地に中国最初の総合的な写真芸術センターとして、「三影堂撮影芸術中心」を設立し、中国における写真の地位向上に寄与するとともに、アルル国際写真祭と提携した写真祭を立ち上げ、日本の写真家の作品を紹介する等、日中を往来しながら欧米とアジアの写真界を繋ぐハブとして貢献している功績に対して

☆功労賞： 土田ヒロミ

「自閉空間」から今日までの作家活動を通じて、常に自身の作品を大きく上書きしながら進化し、現在進行形の出来事として世界や社会を捉え、表現方法を先鋭化させ、土田ヒロミという写真家像を更新し続けている。その若々しい活力と並々ならぬ写真への行動力に対して

☆功労賞： 株式会社便利堂

（株）便利堂は、創立135年を誇る京都の老舗美術印刷・出版会社であると同時に、美術品・文化財の撮影、フィルム・ガラス乾板のデジタルデータ化を行う会社である。文化財としての写真保存（フォトアーカイブ）では、欧米各国に遅れをとる我が国にあって、文化財保存に独自のアプローチで取り組んでいる功績に対して

☆学芸賞： 甲斐義明

著書『ありのままのイメージ スナップ美学と日本写真史』において、日本におけるスナップショットの時代変遷を数多の写真家の業績を通じて論じ、スナップショットの歴史性の中にイメージの本質と人間の営みがどう関わっているかを考察した。この労作に対して

☆学芸賞： 長島有里枝

著書『「僕ら」の「女の子写真」から わたしたちのガリーフォトへ』は、1990年代の若い女性写真家に注目した論評に対峙し、作品を「第三波フェミニズム」の観点で捉え直した。同時に、写真評論の在り方及びこれまでの日本の女性写真家の位置付けに再考を促し、日本写真史に大きく貢献した功績に対して

## 2. 「東京写真月間2021」の開催と「大阪写真月間2021」への協賛 【写真月間委員会】

今年で創設25年目を迎えた「東京写真月間2021」は、当協会及び東京都写真美術館共催、外務省、環境省、文化庁の後援、45の企業の協賛、YUKI TORIIの特別協賛、その他多くの協力・特別協力を頂き、5月25日から約7週間にわたって開催し、7月6日に東京での主な行事を終了致しました。その後、長野県小諸市、北海道東川町、大阪市での公募展を中心とした巡回展を実施し、11月4日に「東京写真月間2021」のすべての行事

を終了致しました。コロナ禍で、会期日程の変更、巡回展の直前中止など紆余曲折はありましたが、関係者の協力の下、大きなトラブルもなく無事に終えることができました。各会場の入場者数は、残念ながらコロナ禍の影響で、例年を大きく下回る状況でした。

### ○国内展「変わりゆく 2020 年代の写真」-若い世代が考える写真の表現-

国内企画展「変わりゆく 2020 年代の写真」-若い世代が考える写真の表現-は、創設 25 周年の節目にあたり、東京写真月間創設以来、新進作家を世に送り出す役目を果たしてきた原点に立ち帰り、若い世代から作品を募り、19 歳で高校生の時に捉えたネイチャーフォトや今流行りの「AI」を駆使した写真を始めとし、若い世代の発想で取り組んだ 9 名の個性豊かな写真表現を 5 会場で展開致しました。

#### 狩野剛史展「民は未来を描く-セルビアの心-

ニコンプラザ新宿 THE GALLEY 5月25日～6月7日

作家が国際交流事業でセルビアに滞在した時に撮影された作品で、「写真という芸術は、新たな人々との関係を構築するための手段」と考え、現地の人々と交流を深め民族や文化・伝統に触れながら構成した美しい作品。

#### 山下晃伸展「夜光性静物観察記」

ニコンプラザ新宿 THE GALLEY 5月25日～6月7日

全国各地の公園などに設置された遊具やオブジェを被写体として夜間に撮影した作品で、作家は WEB 上で公開されている情報を参考にシリーズで継続して撮影しています。今回はその中から厳選した作品を展示。

#### 影山あやの展「DEAR EMOTION」

ソニーイメージングギャラリー 6月1日～17日

作家が 18 歳から撮影を始めた自分の環境と家族の写真です。10 年の歳月が流れ、自分を含めた家族生活の変化を作家独自の感性で「DEAR(親愛なる)」の意味合いを写真に置き換え、独自の視点で捉え表現した生々しさの中に、家族愛を感じる作品。

#### 陳雨心展「平等の部屋」

オリンパスギャラリー東京 6月3日～14日

中国からの留学生である作家が、現代社会における人間関係の相互理解の難しさを、カプセルホテルという閉鎖的な空間を撮影場所に選び表現した作品で、赤系と緑系の配色を使い「理解」の限界を暗示した展開構成。

#### 齊藤晃太展「モモンガが好き」-高校生が見た北海道の自然-

オリンパスギャラリー東京 6月3日～14日

釣りとモモンガ大好き高校生(当時)が撮影した作品で、モモンガの愛くるしさや飛ぶ瞬間の姿の魅力に引き込まれた作家の渾身を込めた作品。

#### 飯田真秀展「NIGHTSCAPES MARUNOUCHI」

エプソンスクエア丸の内 エプサイトギャラリー 6月3日～23日

建築物の竣工写真を職業としている作家が、今回は都内・丸の内中心に既成の建築物の夜間撮影に挑んだ作品で、人や車など、日中を支配していたものの気配が消えることで、昼間には気付かなかった建築物のディテールや形、人や車のいない空間に広さを感じる大型作品。

#### 小池裕也展「新しい自然」

エプソンスクエア丸の内 エプサイトギャラリー 6月3日～23日

赤外線撮影したモノクロ写真を AI(人工知能)でカラー化する斬新な写真手法を試みた挑戦的な作品。作家は、AI が赤外写真をカラー化した時に現れる「未知」なる色に、新しい自然の世界を見出しました。大型写真を使って表現することで、より一層作家が考える新しい写真を考察。

#### 三橋康弘展「駅と彼女。2016-2021」

エプソンスクエア丸の内 エプサイトギャラリー 6月3日～23日

2016 年から、駅のホームに立つ女性を撮影するという視点でシリーズ化。作家は駅の持つ特性、例えば地域と地域を結ぶ拠点としての駅を利用する女性を通して、地域の特徴や風土を彷彿させる作品に仕上げています。

#### チヒロボ展「チヒロボ × コラージュ展 super」

キヤノンオープンギャラリー 6月21日～7月2日

今回のリアルな写真展の中で、異色なフォトコラージュアーティストを取り上げました。作家が、これまでに国内外の地域・都市・街・自然や風土・文化を題材に撮影した写真を、テーマに沿って膨大な時間をかけた根気のいる作業の上に作りだしたデザイン性の高い作品です。

**○国際展「アジアの写真家たち 2020 中国」-江蘇省- 【延期】**

国際展「アジアの写真家たち 2021」展は、2020 年に計画していた「中国-江蘇州-」を1年延期して2021年に開催する予定でしたが、世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響で海外との交流が難しいと判断し、開催を断念致しました。

**○第17回公募展「写真の日」記念写真展**

ヒルトピアアートスクエア（新宿） 7月1日～6日

応募人数 896 名、応募枚数 2,213 点の中から外務大臣賞・環境大臣賞・優秀賞・協賛会社賞（45 社）合計 182 点を展示致しました。

特別協賛：YUKI TORII、久里洋二(作品提供)、東レ㈱

**選考委員：松井みさき、吉村和敏、(公社)日本写真協会 表彰式：中止**

小諸市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 8月12日～21日、「写真の町」東川町文化ギャラリー 10月20日～11月3日、富士フィルムフォトサロン大阪 10月29日～11月4日の3ヶ所を巡回致しました。

第17回公募展「写真の日」記念写真展では、コロナ禍にも関わらず2,200点を超える作品が集まりました。コロナ禍の影響で旅や祭りをテーマにした作品が減りましたが、身近な環境を撮影した作品が増えたことが特徴的と言えます。この公募展を楽しみにされている応募者も多く、引き続き継続していく予定ですが、表彰式の開催や地域での巡回展の開催がコロナ禍の影響で延期・中止となる状況が続いています。

**○「1000人の写真展《わたしのこの一枚》」 【中止】**

1000人の写真展「わたしのこの一枚」は参加型の写真展で、一般の写真愛好家からプロ写真家まで、一般の写真展では見られないこだわりある写真作品を展示していますが、コロナ禍の影響により中止と致しました。

**○日本写真協会賞受賞作品展**

日本写真協会賞受賞作品展は6月1日～3日、富士フィルムフォトサロン東京(六本木)で開催致しました。

**○東京写真月間 2021 後援・協力事業**

**① 第2回「親子写真まつり」「親子の数だけ親子の物語」写真展**

東京写真月間「アジアの写真家たち」からカンボジア、ミャンマーの作家を展示。

主催：親子の日普及推進委員会 6月5日～7月2日 会場：日本外国特派員協会(FCCJ)

**② 第7回高校生国際交流写真フェスティバル 2021 (HIGASHIKAWA ユースフェス)**

世界各国の高校生を一同に集めた写真フェスティバル。18ヶ国20校が参加

東京写真月間「アジアの写真家たち」から、ベトナム、ミャンマー、モンゴルを紹介。ミャンマーは、2月のクーデターにより不参加。

7月30日～10月22日 会場・東川町複合交流施設せんとぴゅあ

**○レセプション 【中止】**

6月1日に笹川記念会館レストラン(三田)にて、日本写真協会賞受賞者祝賀会、叙勲・褒章受賞者祝賀会、東京写真月間オープニングセレモニーを開催予定でしたが、コロナ禍の影響により中止と致しました。

**○図録の発行**

「東京写真月間 2021」を総括した図録を作成して、協力頂いた関係機関に配布するとともに、関係各国大使館や図書館、美術館、ギャラリー、行政府等の公共機関にも無料提供致しました。また、「写真の日」記念写真展入賞者等購入を希望する写真愛好家には、一冊1,500円で頒布致しました。

この「東京写真月間 2021」の開催にあたり、外務省・環境省・文化庁のご後援、各企業・団体からのご協賛、ご協力を頂きました。

○「大阪写真月間 2021」を共催 (500,000 円を協賛)

大阪の写真文化向上を目指す「大阪写真月間」は今年で 20 年目を迎え、下記内容の写真展等を実施致しました。

- 1) 写真家 150 人の一坪展 6 月 3 日～9 月 18 日 5 会場 参加 108 名  
ニコンプラザ大阪 THE GALLERY、αプラザ(大阪) ギャラリースペース、キヤノンギャラリー大阪、  
富士フイルムフォトサロン大阪、リコーイメージングスクエア大阪
- 2) 大阪写真月間ハイスクールフォトアワード 2021  
6 月 4 日～10 日 富士フイルムフォトサロン大阪 参加 65 校 366 作品  
日本写真協会会長賞を設定：群馬県立富岡実業高等学校 石田智千都氏に授与
- 3) 写真展「私のこの一枚」 6 月 9 日～14 日 イロリ村[89]画廊 178 作品
- 4) 記念講演会「写真家川島小鳥氏に聞く『自然体ポートレートの極意』」川島小鳥  
6 月 6 日 オンライン開催 参加 65 名

**3. 国際交流活動 【国際交流委員会】・【写真月間委員会】**

- ・「平和の願いを込めて -ミャンマーの人々の暮らし-」展  
期間：7 月 1 日～6 日、会場：プレイス M、ヒルトピアアートスクエア  
亀山仁、Zaw Min、Kyaw Kyaw Winn(ミャンマー写真協会会長)、Thandar Soe、Kyaw Zaw Lay、関口照生、  
Nyan Linら各氏の作品を展示するとともに、当協会賛助会員・会員よりご協力を頂き、チャリティー品を  
販売致しました。売上金は、ミャンマー写真協会を通してミャンマーの平和を願い、ヤンゴン・マンダレーに  
寄付致しました(272,838円)。ネットニュース(サライ・朝日デジタル)やミャンマー本国のテレビに、大き  
く取り上げられました。  
また、「ミャンマー祭り 2021 年」の「慈しみのミャンマー写真展」(期間：12 月 4 日～19 日、会場：増上寺)の  
チャリティー会場に支援を行い、ミャンマーポストカード・オリジナルマスク等の売上(13,500 円)を寄付  
致しました。
- ・ルーマニア・日本国交樹立 100 周年記念写真展「ルーマニアと日本の人々と風景」  
主催：”Euro Foto Art” International Association、会場：ルーマニア・オラデア EURO FOTO GALLERY、  
期間：12 月 10 日～2022 年 1 月 9 日  
ルーマニア 50 点、日本 50 点(PSJ 会員作品含む)、合計 100 点の作品を展示しました。当協会として後援を  
行うとともに、2022 年 10 月に当協会主催で「日本とルーマニアの人々と風景」写真展を開催する予定です。
- ・日本写真協会賞新人賞受賞作品の海外での巡回展を予定していましたが、全世界的な新型コロナウイルス  
感染拡大の影響により、中止と致しました。

**4. 写真・映像教育の推進 【写真・映像教育推進委員会】 【中止】**

平成 18 年 3 月にスタートした写真・映像教育の推進事業は、子供達に写真の楽しさ、面白さなど感動と親し  
みを体験してもらうことを目的に、「ピンホール写真体験教室」ならびに「デジタル写真体験教室」を実施し  
ています。令和 3 年度は、令和 2 年度に引き続き、コロナ禍影響により実施できませんでした。

**5. 年報・会報等の発行 【出版広報委員会】・【写真月間委員会】**

1) 年報

「不特定多数の利益の増進に寄与する公益事業」として認定された「日本写真年報」は、2013 年版より、「日本

写真年鑑」と題し、従来の写真業界の年報としての機能に合わせ、年間を通じた写真界の幅広い情報を掲載してまいりましたが、2021年版からは時代に即した内容精査を行い、従来の写真業界の年報としての機能に重点化し「日本写真年報」として新たに発行することとし、11月に発行・配布を行いました。

## 2) 東京写真月間図録

「東京写真月間」の開催にあたって、事業内容を集約した図録を製作・頒布致しました。

## B. 共益事業

### 1. 会報の発行【出版広報委員会】

令和3年度は、事業計画通り年2回、11月(秋・481号)・3月(春・482号)を発行し、各時点における協会及び会員の活動や今後の計画、写真文化情報などを紹介致しました。また、6月には東京写真月間2021図録を全会員・賛助団体に郵送致しました。

#### ・主要掲載記事

481号：「代表理事会長 退任ならびに就任ご挨拶」「写大ギャラリー写真展『写真の中の東京は、』」他

482号：「欠片から見えてくるもの -キンスキ・イムレの写真」「東京写真月間2022に向かって」他

## C. 法人運営事業

### 1. 公的機関が主催する写真コンテスト・イベント等への協力【総務委員会】・【写真月間委員会】

公益社団法人移行後、公的機関からの写真コンテスト・イベント等の相談及び協力依頼に対応しています。

#### 1) 第37回「写真の町・東川町フォトフェスタ」へ協力

北海道東川町主催の第37回「写真の町・東川町フォトフェスタ」(7月31日～9月1日)を後援致しました。

#### 2) 「無電柱化の日」フォトコンテストへ協力

東京都主催の「無電柱化の日」フォトコンテスト(応募：9月7日～10月13日、表彰式：11月10日)に後援し、審査員を紹介(当協会会員 並木隆氏・出水恵利子氏)するとともに、フォトコンテスト告知に協力致しました。

#### 3) 総務省より、統計局発行書籍の掲載写真へ協力

①総務省統計局発行「Statistical Handbook of Japan 2021(国内版)」(\*)に、「写真の日」記念写真展・2019年～2021年の入賞作品より、表紙写真含め11点掲載。

(\*)統計を通じて我が国の今日を分かりやすく紹介した英文刊行物。人口・経済・社会・文化など17章に分かれ、統計表・グラフ・写真・地図を用いて解説。総務省統計局ホームページにも掲載。国際機関、各国大使館、各国統計局、各府省庁、都道府県、国公立図書館、大学図書館等に無償配布。

②総務省統計局発行「世界の統計2021」に、「アジアの写真家たちモンゴル」の写真家による表紙写真を使用。

### 2. 社員総会・理事会・総括運営委員会の開催【総務委員会】

4月23日の第1回通常理事会において、令和2年度事業報告、貸借対照表および損益計算書の承認、定時社員総会開催内容を決定致しました。6月17日に令和3年度定時社員総会を開催、議決権者1,453名、議決権行使897名(出席19名を含む)で令和2年度事業報告、令和3年度事業計画・予算を報告、令和2年度決算、役員任期満了に伴う改選、役員報酬総額を決定。総会終了後、第2回通常理事会を開催致しました。

その後、代表理事会長である宗雪雅幸氏より健康上の理由から辞任の申し出があったため、8月20日に第1回臨時理事会を书面にて開催し、新理事の選任と臨時社員総会の開催を決定。9月17日に臨時社員総会を開催、議決権者1,476名、議決権行使990名(出席14名を含む)で、新理事の選任を決定。総会終了後、第2回臨時理事会を開催し、青木良和氏の代表理事会長への選任と、宗雪雅幸氏の名誉会長への推薦を承認致しました。令和4年3月25日に第3回通常理事会を书面にて開催。令和4年度事業計画、令和4年度予算を

承認致しました。

また、11月16日、1月18日、3月15日の3回、事業報告及び財務状況を代表理事会長、理事副会長に各委員会委員長が報告する総括運営委員会を開催致しました。

### 3. コンプライアンス【コンプライアンス委員会】【総務委員会】

令和4年3月14日 コンプライアンス委員会を開催（尾畑業務執行理事、庄業務執行理事、松本理事副会長、井沢理事）し、令和3年度の公益事業に関し、コロナ禍において適切な運営ができたかを点検しました。また、令和2年6月1日に施行された「改正労働施策総合推進法」に基づく「パワーハラスメント防止措置」が令和4年4月1日から義務化されることを受け、協会内へのコンプライアンス・ヘルプライン設置、運用案の検討を行いました。

### 4. 会員向けアンケートの実施【総務委員会】

近年のデジタル化・ネットワーク化の進展に加え、コロナ禍の影響等もあり、写真を取り巻く環境は大きく変化しており、協会の活動は今後どうあるべきなのか検討する時期にきています。この検討の参考にするために、会員向けアンケートを実施致しました。

### 5. 展覧会等の後援【総務委員会】

当協会は公的機関や学校教育機関、マスコミ、写真関係団体等が主催し、内容が文化、教育、国際交流に寄与する写真展等に対して後援・協賛・協力を行っていますが、令和3年度は以下の催事をバックアップ致しました。

	申請者（≠主催者）	写真展名	会期・場所
1	相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら実行委員会	相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら 2021	4月1日～2022年3月31日 相模原市民ギャラリー他
2	日本山岳写真協会	2021年日本山岳写真協会展	2021年8月31日～9月8日 東京都美術館他巡回
3	主催：(株)プロメディア	PHOTONEXT2021【協力】	期間：6月15日～16日 会場：パシフィコ横浜 A・Bホール
4	日本写真学会、写真感光材料工業会	PHOTONEXT2021 技術アカデミー	6月15日 パシフィコ横浜
5	長野県阿智村	第24回熊谷元一写真賞コンクール	応募締切 2021年10月7日
6	主催：(一社)東京都民間保育園協会	第4回 TOKYO 保育フォトコンテスト「TOKYO 保育フォト展」	募集：6月1日～7月30日、展示：11月5日～6日
7	写真展ポジティブエナジーズ実行委員会	写真展「Positive Energies」	開催日：7月22日～8月3日、会場：渋谷ヒカリエ ギャラリースペース「CUBE」
8	朝日新聞社、世界報道財団	世界報道写真展 2021	東京都写真美術館 6/12～8/9、立命館大学（滋賀）9/20～10/15、立命館大学（京都）10/18～10/31、立命館アジア太平洋大学（大分）11/5～11/19
9	NHK 学園	第4回NHK学園「四季の写真展」	9月1日～6日 みなとみらいギャラリー
10	日本光画会	第56回日本光画会写真展	12月7日～令和4年4月16日 大阪市立美術館 他巡回
11	東川町写真の町実行委員会	第37回東川町国際写真フェスティバル（フォトフェスタ 2021）	2021年7月27日～9月1日 東川町町内一円
12	公益財団法人さかた文化財団 土門拳記念館	第16回写真展「わたしのこの一枚」【協力】	2022年1月4日～1月24日 土門拳記念館
13	フォト3	フォト3写真展	8月20日～22日 上越市高田図書館ギャラリー

	申請者（≠主催者）	写真展名	会期・場所
14	にっぽん一大使たちの視線写真展 実行委員会	にっぽん一大使たちの視線 2021 写真展	10月6日～11日 六本木ヒルズ、神戸、横浜、 名古屋他
15	東京都	「無電柱化」の日フォトコンテスト	募集:9/7～10/13、展示:11/24～26 東京ビッグサイ ト
16	(株)クレヴィス 主催:秋田魁新報 社、秋田県、平野政吉美術財団	生誕120年 木村伊兵衛回顧展	11/13～2022/1/23 秋田県立美術館
17	グループ愛黄	グループ愛黄写真展「黄山 魅力の 冬を訪ねて」(仮題)	R4年3月10日～21日 リニューアル「スカイ東京
18	一般社団法人 日本現代写真家協 会	JMPA 第2回インターネットフォト コンテスト	募集:11/1～31 発表:R4年2月15日
19	“生きもの写真リトルリーグ実行委 員会	「第6回生きもの写真リトルリー グ」	10月～11月作品募集、2022年長野県小諸高原 美術館にて展示予定
20	NHK学園	第32回NHK生涯学習写真展	2022年2月11日～2月17日 富士フィルムフ ォトサロン東京
21	一般社団法人日本写真文化協会	「第68回全国展フォトコンテス ト」	募集:12/6～2/11 展示:令和4年5月28日～ 6月4日東京都美術館、9月23日～9月29日富 士フィルムフォトサロン大阪、12月22日～12 月28日ポートレートG
22	“Euro Foto Art” International Association	日本・ルーマニア外交関係樹立 100周年記念写真展示会	“ルーマニア・オラデア12月3日～2022年1月 5日、ブカレスト2022年予定
23	(株)クレヴィス 主催:目黒区芸術 文化振興財団 目黒区美術館	「木村伊兵衛と画家たちの見たパ リ 色とりどり展」	R4年2月19日～3月27日 目黒区美術館
24	フォトグループいぶき	第10回「四季のいぶき」展	2021年12月17日～12月28日 富士フィルム フォトサロン東京
25	一般社団法人カメラ映像機器工業 会	CP+ (シーピープラス) 2022【協 力】	2022年2月24日～27日 (オンラインは、2月 22日～27日)、パシフィコ横浜

## 附属明細書

該当事項がないため、記載を省略しております。

以上